

ジョイントディグリープログラムおよび防災プログラムに関する会議等の開催

2016年5月31日～6月3日にかけて筑波大学より宮本邦明教授、浅沼准教授、辻村真樹教授、内海真生准教授および甲斐田直子助教が MJIT を来訪した。

ジョイントディグリープログラム推進に関しては、辻村教授、内海准教授および甲斐田助教が MJIT および EGT の組織や教育に関する基礎データを収集した他、MOA の内容に関する協議や運用に関するマニュアル作成など、MJIT の Nurul Bahiyah binti Ahmad Khairudin 講師および Ooi Chia Yee 講師と詳細を検討した。また、5月31日には EGT 教員に対する説明会を実施した。

防災プログラムに関しては6月2日にカリキュラムの詳細や日本からの派遣教員に関する協議が行われ、宮本教授、浅沼教授、甲斐田教授が参加した。宮本教授らは、6月3日に開催された JUC 専門委員会にも参加した。

ジョイントディグリープログラムや防災プログラムはそれぞれ2017年9月（筑波大学は2017年4月）および2016年9月に実施が予定されており、それに向けて順調に準備が進められている。これらのプログラムは MJIT にとっても大きな意義を有する事業であることから、MJIT における筑波大学の存在感は、今後も大きなものになると考えられる。



KL オフィス前にて。前列右から宮本教授、甲斐田助教、林伸江 JICA 専門家（筑波大学出身）、後列右から岩本准教授、辻村教授、内海准教授、杉浦教授、Azma 氏。